

# 薬剤師と臨床工学技士の連携による薬物治療の適正化に関する研究

## 1. 研究の対象

2021年1月から6月の期間、または2021年8月から2022年1月までの期間で当院EICU、HCU、5山病棟、ICUの救命診療科に入院された方

## 2. 研究目的・方法

救急・集中治療領域では、治療の一環として持続血液浄化療法や体外式膜型人工心肺などの体外循環装置の導入が行われています。体外循環装置は医薬品の血中濃度などに影響を及ぼすことが知られており、薬剤師は医師・看護師と連携を行い医薬品の濃度が適正に保たれるように務めております。体外循環装置は臨床工学技士の専門分野であり、臨床工学技士と薬剤師が連携することで更なる薬物療法の適正化に貢献できる可能性があります。当院では重症部門に関して、薬剤師と臨床工学技士が体外循環装置の実施状況の把握などで連携をしています。

本研究は、臨床工学技士と薬剤師が連携することで薬物療法の適正化にどのように貢献するかを調査することを目的としています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録や介入記録などから体外循環装置の種類、投与中の薬剤、薬剤師が介入した内容など

## 4. 外部への試料・情報の提供

該当しません

## 5. 研究組織

りんくう総合医療センター  
薬剤科 小林 洋平

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府泉佐野市りんくう往来北 2 番地の 23 りんくう総合医療センター

TEL:072-469-3111

研究責任者 薬剤科 小林 洋平

研究代表者：りんくう総合医療センター 薬剤科 小林 洋平